

ガソリン携行缶使用時のご注意

※ガソリン等の貯蔵・取扱いに関する注意事項

ガソリンの危険性について

ガソリンは気温が -40°C でも気化し小さな熱源でも引火し爆発的に燃焼する物質です。

軽油は $+40^{\circ}\text{C}$ で気化します

ガソリン携行缶の取扱いについて

使用時には取扱説明書をよく読み適正な取扱いをして下さい。

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等、注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告があります

容器について

消防法により定められた金属缶を使用して下さい。下のようなラベルが貼られた携行缶は、消防法令の基準に適合するものです。



高温注意

ガソリン携行缶は直射日光を避け風通しのよい場所で保管する

火気厳禁

ガソリン携行缶を扱う際は、周囲でタバコを吸う等、火気の使用は絶対にしない

作業の前にエンジン停止

圧力調整弁を活用!

開栓時は一気にキャップを開けず圧力調整弁で**ガス抜き**を!!

※先にキャップを開けた場合、缶内に充満したガスが一気に吹き出す可能性があり、大変危険です



保管時は密栓!

ガソリン蒸気が流出しないようにしっかり栓を閉める!!